

看護過程演習

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	演習 45 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

事例を用いて看護過程の展開（情報収集・アセスメント、問題点の明確化、目標設定、計画立案、実施、評価）を行う。ロジカルシンキング（論理的思考法）やクリティカルシンキング（批判的思考法）などの思考方法を活用し、実技演習を含めて、個別性に応じた看護展開の方法を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

本科目は「看護過程論」の学びに基に、これから学修する各看護領域での看護過程展開の学習の基盤となる科目である。看護の対象となる人々に、計画的に看護を実践する能力と看護援助技術を適切に実施する能力、さらに援助的関係を形成する能力を身につけることを目指す。看護過程論での学びをさらに深め、看護過程の実践、評価のプロセスについて理解を深めることが出来る。個人学修だけでなく、グループ学修を通して多くの意見や見方に接し、看護の対象に対する有効な援助の判断について理解を深めることができる。シミュレーション演習では、看護過程を展開している紙上事例の患者に対する情報収集・看護ケアを病院での実践場面を再現した中で経験する。その経験を振り返って検証することによって、対象との援助的な関係形成を基盤として、実践に必要な知識や観察力、判断力、実践力を身につけることが出来る。そして、グループ学修、シミュレーション演習を通してチームワークの大切さを認識する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5

・到達目標（SBO）

1. 提示された事例の情報を指定のアセスメント項目に分類し、アセスメントすることができる。
2. 関連図から看護上の問題点を見出し記述することができる。
3. 提示された事例の看護計画を立案することができる。
4. 提示された事例の看護計画の評価をすることができる。
5. 自己の考えを仲間に話し、仲間の話しにも耳を傾け、効果的な意見交換をすることができる。
6. 看護の実践としての患者観察と情報収集、看護ケアのシミュレーション演習を通して、対象に必要な看護実践ができる。
7. 看護過程の展開に必要なロジカルシンキング（論理的思考法）やクリティカルシンキング（批判的思考法）の考え方を説明できる。

8. 事例の展開を通して、看護過程を展開する上での自己の課題を述べることができる。
 9. グループワーク、シミュレーション演習後での自己の課題を述べるができる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/7 (金) 3 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	看護過程演習ガイダンス ・看護過程のプロセスを説明できる
4/14 (金) 3 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程① (個人ワーク) ・事例の疾患・治療について、説明できる
4/14 (金) 4 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程② (個人ワーク) ・事例のアセスメントを記述することができる
4/18 (火) 3 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程③ (個人ワーク) ・事例のアセスメントを記述することができる
4/26 (水) 2 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程④ (個人ワーク) ・事例の関連図を記述することができる
4/26 (水) 3 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑤ (個人ワーク) ・事例の関連図を記述することができる ・看護上の問題を挙げるができる
4/28 (金) 3 限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑥ (グループワーク) ・事例の関連図を説明できる ・事例の看護上の問題を説明できる 1) 各パターン、必ず一人ずつ、アセスメントを発表 2) 1) を踏まえ、この事例の全体像を把握するために項目間の関連を 検討し、1 枚の用紙に関連図としてまとめる *約 6 名 1 グループ 計 16 グループ。

4/28 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑦（グループワーク） ・事例の関連図を説明できる ・事例の看護上の問題を説明できる 1) 各パターン、必ず一人ずつ、アセスメントを発表 2) 1) を踏まえ、この事例の全体像を把握するために項目間の関連を 検討し、1枚の用紙に関連図としてまとめる
5/12 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑧（グループワーク） ・事例の看護計画を立案することができる
5/12 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑨(グループワーク) ・事例の看護計画を立案することができる
5/17 (水) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑩ (シミュレーション演習ブリーフィング) ・模擬患者から情報収集する項目をあげることができる
5/19 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑪ (シミュレーション演習 情報収集) ・事例に必要な情報収集を実践できる
5/19 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑫ (シミュレーション演習 情報収集) ・事例に必要な情報収集を実践できる
5/19 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑬ (シミュレーション演習 情報収集) ・事例に必要な情報収集を実践できる
5/26 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑭ (シミュレーション演習 看護ケア) ・事例に必要な看護ケアを実践できる
5/26 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑮ (シミュレーション演習 看護ケア) ・事例に必要な看護ケアを実践できる

5/26 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護実践⑩ (シミュレーション演習 看護ケア) ・事例に必要な看護ケアを実践できる
6/2 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑪ ・実践した看護計画の評価をすることができる
6/2 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護過程⑫ ・実践した看護計画の評価をすることができる
6/9 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A' (再入院) を用いての看護過程⑬(個人ワーク) ・事例のアセスメントを記述することができる
6/9 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A' (再入院) を用いての看護過程⑭(個人ワーク) ・事例のアセスメントを記述することができる
6/13 (火) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A' (再入院) を用いての看護過程⑮(個人ワーク) ・事例のアセスメントを記述することができる
6/16 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A' (再入院) を用いての看護過程⑯(個人ワーク) ・事例の関連図を記述することができる
6/16 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A' (再入院) を用いての看護過程⑰(個人ワーク) ・事例の看護上の問題を記述することができる
6/19 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護技術演習 ・事例に必要な看護ケアを実践できる
6/19 (月) 4限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護技術演習 ・事例に必要な看護ケアを実践できる

6/23 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護技術演習 ・事例に必要な看護ケアを実践できる
6/23 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例 A を用いての看護技術演習 ・事例に必要な看護ケアを実践できる
6/29 (木) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	看護過程のまとめ ・看護過程を用いることの意義を説明できる ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング（論理的思考法）やクリティカルシンキング（批判的思考法）の考え方を説明できる ・事例の展開を通して、看護過程の展開をする上での自己の課題を述べることができる
6/29 (木) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	看護過程のまとめ ・看護過程を用いることの意義を説明できる ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング（論理的思考法）やクリティカルシンキング（批判的思考法）の考え方を説明できる ・事例の展開を通して、看護過程の展開をする上での自己の課題を述べることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 II	松尾ミヨ子 他 編集	メディカ出版	2022
教	アセスメント・看護計画がわかる症状別看護過程第2版	小田正枝編集	照林社	2021
参	看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	2019

・成績評価方法

看護過程の事例展開 60%（事例 A-30%、事例 A'-30%）
演習（グループワーク、事例 A シミュレーション演習、事例 A' 看護技術演習）への取り組み 40%
*各評価のためのルーブリックは、課題提示時に一緒に提示する

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】
「看護過程論」での学修が基盤となるため復習が必須となる。また、看護過程の展開には、人体の構造・機能・病態などの知識が必要になるため、既習科目を復習しながら、事前事後の課題に緻密に取り組む。各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	CPS 実習ユニットⅡ,接続用吸引器・酸素流量計	2	シミュレーション演習
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	シミュレーション演習
演習	フィジカルアセスメントモデル“Physiko”	3	シミュレーション演習
演習	多職種連携ハイブリッドシミュレータ“SCENARIO”	3	シミュレーション演習